

出雲地区 (出雲・平田・簸川)

保護司会だより

第1号

にんげんがさき・点数は後

出雲地区保護司会 会長 坂本圭祥



保護司法の
改正により、出
雲保護区(出雲
市・平田市・
簸川郡)を称し

て「出雲地区保護司会」となつて
四年目を迎えました。

私たち保護司は、犯罪を犯した
人、非行に陥つた少年達の社会更
生の手助けばかりでなく、犯罪の
起さない地域社会づくりをめざし
て活動をしています。

昨今の世情を思いますに、犯罪
の多様化・低年齢化、また少子化
社会にあつて、青少年の犯罪や非
行は凶悪にして傍若なものがあり、
目を覆うばかりであります。

殊に行政の機構改革により、公
民館が「地区コミュニティセンタ
ー」として幅広く地域の活性化を
図るなかで、私たち保護司も深く
関わりをもち、関係機関との連携
をもつて、地域及び人間性の情操
を図ることが課題であろうと考
えます。

「社会を明るくする運動」は法

務省主唱により、全国的に七月を
強調月間としており、本年度で五十
二回を迎えます。「にんげんはねえ、
人から点数をつけられるために、
この世に生まれてきたのではない
んだよ。にんげんがさき、点数は
後」の相田みつを氏の言葉を思い、
あらためて「人間って？」という
原点を考え直すことで、犯罪や非
行のない明るい社会が築けるので
はないでしょうか。

青少年の人間性を尊重し、個性
豊かな特徴を引き出し、温かい思
いやりのある人づくりこそ、社会
を明るくする運動の基本
であると思います。

保護司会の本年の重点
目標として、学校教育と
の連携と、就職難の社会
ではあります。無職少年
たちに職場を与える「協
力雇用主」の発掘などが
考えられています。要は
人と人とのふれ合いのな

かで支えあう人間愛を育てる地
域・社会づくりが求められるもの
です。

人を育てることは大変難しいこ
とではありますが、外見の判断や
知識によって人を採点することは、
あまりにも無情な、そして無謀な
裁断と思われれます。

学校教育が完全週五日制となり、
子どもたちも地域的ふれあいの時
間が多くなる中で、青少年健全育
成を図るには、更なる地域と青少
年の関わりが不可欠な問題となる
ことでしょう。私たち保護司も積
極的に社会活動に参画し、関係機
関との連携を密にして、共に支え
共に生きるネットワークづくりが
肝要と考えます。

保護司の活動にご理解ご協力を
賜りますことを念じてやみません。



第52回 “社会を明るくする運動” について

趣旨

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

強調月間

七月を「社会を明るくする運動」強調月間とします。

重点目標

犯罪や非行を防止し、罪を犯した人や非行をした少年の更生を支え、人々が支え合って生きていく明るい地域づくりに参加する。

統一標語

ふれあいと 対話が築く

明るい社会

キーコンセプト

「子ども・いきいき・

ネットワーク」

地域活動のキーコンセプトに

沿って、大人も子どもも夢や希望を持って支えあって生きていく明るい地域づくりを目指します。

ポスターについて

今年のポスターは（表紙に掲載）、子どもたちが笑顔でいられるような社会、非行や犯罪のない明るい社会を築くことが大切であることを訴えています。

メインコピー

「人間がさき、点数は後」

書家・詩人である相田みつを先生の詩の一節です。人は、誰でも点数だけで自分も相手も評価してしまいがちです。ありのままの相手を受け入れることは簡単ではありません。でも、少し立ち止まって、「人間って？」という原点をもう一度考え直してみませんか？

サブコピー

「二人一人が明るい社会の担い手です。」

明るい社会を築くためには、大人だけでなく、子どもたち一人一人も大切な担い手です。

出雲地区保護司会では、「社会を明るくする運動」の趣旨にそって、出雲市・平田市・簸川郡内各町個別に、行政機関・社会福祉協議会や更生保護婦人会などの関係機関や団体と連携を保ちながら、明るい地域づくりを目指して、次のような活動を実施しています。

◎法務大臣メッセージ伝達(写真)



◎街頭広報活動(パレード・パンフレット配布・街頭宣伝車・セスナ機による空からの広報等)

- ◎公民館単位によるミニ集会
- ◎公開ケース研究会
- ◎広報ビデオによる話し合い
- ◎講演会

◎警察、学校、民生児童委員、青少年健全育成会議などの各種団体との連携による夜間パトロール等の実施

◎ポスター・看板・懸垂幕の掲示

◎保護司会だより発行

皆さんも、出来ることから「社会を明るくする運動」にご協力をお願いします。

出雲地区保護司会

保護司数

(平成十四年六月一日現在)

出雲市支部	男性	三十三名
	女性	八名
平田市支部	男性	十三名
	女性	三名
簸川支部	男性	十八名
	女性	七名
合計	男性	六十四名
	女性	十八名
	合計	八十二名



出雲地区保護司会だより

出雲地区保護司会には、出雲市・平田市・簸川郡の三つの支部があり、また簸川郡の各町は班と称しています。それぞれが特徴のある活動を行っています。その一端を紹介します。

◎出雲市支部 (四十一名)

(カッコ内は保護司数です。)



毎年、社会を明るくする運動月間にあわせ、小学生から一般を対象として、標語を募集しています。昨年度の結果については、四ページに掲載のとおりです。

また、「公開ケース研究会」を開催し、広く市民の皆様と一緒に人々が支えあって生きていく明るい地域づくりのあり方について、研鑽に努めています。

◎平田市支部 (十六名)

〈めぐせ無犯罪三百六十五日〉

犯罪のない明るい社会の実現は誰もの願いです。市の関係協議会、地区公民館や各種団体と連携し青



し、全公民館を巡回しながらの啓発運動の実施など〈めぐせ無犯罪三百六十五日〉を目標として相互の連絡を密にした活動を行っています。

◎簸川支部斐川町班 (十名)

年間を通じて様々な活動を行っています。その主なものは次のとおりです。

- ☆社会を明るくする運動関係
- ・町内パレード
- と街頭啓発活動
- ・町内四幼稚園
- と二中学校を訪問し、法の遵守を呼びかける。



☆保護観察協会の会員増強活動
☆一年一回の視察研修

◎簸川支部佐田町班 (三名)

毎年七月一日には、役場庁舎で法務大臣からの「社会を明るくする運動」のメッセージを町長に伝達します。その後、町広報車で社明月間の趣旨を録音したテープを流しながら町内を巡回します。

巡回の途中、保育所や学校に立ち寄り、児童生徒の代表に社会を明るくする運動の一助にと、図書券を送るとともに、趣旨を話しています。



◎簸川支部多伎町班 (二名)

昨年度は、明るい地域を願い町民の意識高揚を図るため、次の活動を重点に行いました。

- 一、中学生を対象の活動
- ・講演と音楽活動「小さな出会いから」
- ・警察署と共催で、薬物乱用防止講演会
- 二、全町民を対象の講演会
- ・「心と体の健康」「日本のうたふるさとの心」



三、夏季休業前の保護司と民生児童委員・学校との連絡会

◎簸川支部湖陵町班 (二名)



昨年度は「子ども・いきいき・ネットワー」の一環として、地区の子ども会、保護者

会、高齢者クラブやボランティアグループの方々の協力のもとに、古代の方法を再現して土笛を作り、出来上がった土笛で早速演奏をして楽しみました。

◎簸川支部大社町班 (八名)

社会を明るくする運動の一環として、メッセージの伝達、街頭でのチラシ配布を更生保護婦人会・少年補導員・警察署・役場職員参加のもとに行いました。



また、「社会福祉と行政の諸問題」と題して、町長・教育長を交えての研修会を開催し、保護司としての資質の向上を図りました。

平成十三年度「社会を明るくする運動」 標語入賞作品

出雲地区保護司会出雲市支部では、平成十三年七月に社会を明るくする運動の一環として「犯罪のない明るい街づくり」「青少年の非行防止」をアピールする標語の募集をしました。

選考の結果、次の方々が入賞されました。(小中学生の学年は昨年度です。)

中学生の部

最優秀賞

さしのべて

笑顔をつくる あなたの手

福田 成美(浜山中学校二年)

優秀賞

助け合う 未来をつくる 家族愛

金築百々子(浜山中学校二年)

応募総数

小学生の部 四百二十九人

六百五十三点

中学生の部 二百三人

四百六十四点

一般の部 四十一人

百五点

一般の部

最優秀賞

凛とした 親の姿を 子を見て育つ

長崎 幸雄(高岡町)

優秀賞

育つ子に 住み良い社会を 創る親

宮迫千代子(古志町)

叱るより 上手にほめて 子育てを

和泉 一郎(西林木町)

小学生の部

最優秀賞

話し合い 家族のきずな 深めよう

杉本 貴亮(大津小学校六年)

優秀賞

家族の輪 ぼくの大事な たからもの

長島 真(高松小学校六年)

あいさつと 笑顔が創る 明るい社会

妹尾 亘(上津小学校五年)



受章者の紹介

更生保護功労により、平成十三年度中に各種表彰を受けられました。(敬称略)

藍綬褒章 坂本圭祥(出雲市)

県知事感謝状 山根 寛(平田市)

法務大臣表彰 吉田桂子・布野登美 (以上出雲市)

全国保護司連盟会長表彰 磯田晴夫・福岡健文・小村八郎

中国地方更生保護委員会委員長表彰 錦織清一郎・持田 基・村尾 孝義・山下重利

中国地方保護司連盟会長表彰 景山琢磨・片寄恭江・岡田泰 明・樋野達夫・錦織博子

松江保護観察所長表彰 藤岡牧雄・山根治夫・奈島芳 江・伊藤勝巳

島根県保護司会連合会長表彰 原 勝子・柳楽利子・田坂 将

平成十三年度 島根保護観察協会会員数

多数の皆様のご協力に感謝を申し上げます。(単位:人)

地区名	内 訳				合 計
	特別会員	賛助会員	協力会員	普通会員	
出雲市	53	168	367	258	846
平田市	5	26	138	438	607
斐川町	15	45	163	110	333
佐田町	1	21	58	48	128
多伎町	0	9	32	93	134
湖陵町	2	4	15	54	75
大社町	3	30	96	97	226
合 計	79	303	869	1,098	2,349

保護司の異動

◎退任

磯田晴夫・古川享子(以上出雲市)
小村八郎(平田市)

◎新任

(平成十四年五月三十一日付)
竹田朝男・一ノ瀬隆男・小倉郁子
(以上出雲市) 渡部武夫(平田市)
春日 茂(湖陵町)

◎訃報

松浦 秀子氏(平成十三年二月)
荒木 郁朗氏(平成十四年四月)
永田 一夫氏(平成十四年四月)



「社会を明るくする運動」標語募集のお知らせ

出雲地区保護司会出雲市支部では、「犯罪のない明るい街づくり」「青少年の非行防止」がテーマになる標語を左記のとおり募集いたします。奮って応募下さい。

○応募資格／市内に居住する小学生以上の方

○募集方法／一人三点以内とし、自作、未発表のものに限ります。用紙は自由です。なお、作品に、住所・氏名・電話番号・小学生・中学生・一般の区別を記入して下さい。（小・中学生は学年も記入して下さい。）

○提出先／地区コミュニティセンター（公民館）に設置してある投稿箱に入れて下さい。

○募集期間／七月一日から七月三十一日（社会を明るくする運動月間中）

○表彰／小学生・中学生・一般の三部で審査し、それぞれ次のとおり表彰します。

※最優秀賞 一点（賞状・副賞として五千円の図書券）

※優秀賞 二点（賞状・副賞として三千円の図書券）

※佳作 七点（賞状・副賞として千円の図書券）

○入選作品の発表／平成十五年七月発行予定の

「出雲地区保護司会だより」に掲載し、全戸及び関係機関に配布します。



第五十一回「社会を明るくする運動」協賛御礼

本運動展開のため、左記の皆様には立て看板広報のご協賛を賜り、格別なご芳志のほど、厚く御礼申し上げます。

出雲地区保護司会出雲市支部 支部長 坂本 圭祥

- いずも農業協同組合ラピダ様
- 三和興業(株)様
- 三島建設様
- ダイワボウ出雲工場様
- 田辺精機株式会社様
- (株)渡部製鋼所様
- 福岡商事株式会社様
- 出雲信用組合様
- (株)御船組様
- ダイイチ株式会社様
- くもわた株式会社様
- 出雲商工会議所様
- (有)門脇組様
- 今岡工業務店様
- 出雲市内郵便局様
- 今岡工業株式会社様
- 内村電気工事店様
- デパートパオ様
- 出雲石油株式会社様
- 出雲市社会福祉協議会様
- 長浜コミュニティセンター様
- 長浜地区社会福祉協議会様
- 鳶巣青少年健全育成協議会様
- 稗原コミュニティセンター様
- 高松地区青少年健全育成協議会様
- 高松地区自治会様
- 高浜地区青少年健全育成協議会様
- 高浜コミュニティセンター様
- 四絡コミュニティセンター様
- 上津コミュニティセンター様
- 上津地区明るい町づくり推進協議会様
- 乙立コミュニティセンター様
- 川跡コミュニティセンター様
- 川跡地区明るい町づくり推進協議会様
- 今市コミュニティセンター様
- 大津コミュニティセンター様
- 塩冶コミュニティセンター様
- 塩冶地区明るい町づくり推進協議会様
- 神門地区明るい町づくり推進協議会様
- 神西地区明るい町づくり推進協議会様
- 古志コミュニティセンター様
- 古志地区社会福祉協議会様
- 朝山コミュニティセンター様

(順不同)



人はみな
なれゆく
生き
かた